



2024年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月13日

上場会社名 株式会社SKIYAKI 上場取引所 東
コード番号 3995 URL https://skiyaki.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小久保 知洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03-5428-8378
四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年1月期第2四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	1,284	12.1	176	58.1	197	61.2	102	49.3
2023年1月期第2四半期	1,146	△2.4	111	-	122	-	68	295.9

（注）包括利益 2024年1月期第2四半期 103百万円（50.5%） 2023年1月期第2四半期 68百万円（261.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	9.52	9.46
2023年1月期第2四半期	6.40	6.37

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第2四半期	4,199	1,339	31.7
2023年1月期	4,100	1,228	29.7

（参考）自己資本 2024年1月期第2四半期 1,329百万円 2023年1月期 1,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年1月期	-	0.00	-	-	-
2024年1月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,601	6.0	257	14.5	280	18.8	223	309.2	20.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期2Q	10,815,500株	2023年1月期	10,785,500株
② 期末自己株式数	2024年1月期2Q	8,038株	2023年1月期	8,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期2Q	10,789,129株	2023年1月期2Q	10,755,219株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する行動制限が緩和され、経済活動の正常化など収束に向かう動きが見られるようになった一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、金利・為替相場の変動や物価上昇が進行するなど、景気の先行きは未だ不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループは、クリエイターに係るファンクラブ（以下「FC」という。）サービス、クリエイターグッズ等のECサービスの提供サービス数を増やし、取引規模を堅調に拡大させて参りました。これらの事業展開により、2023年7月末日現在における当社グループが提供するプラットフォームの有料会員数は、111.7万人（前年同四半期比8.4%増）となりました。

(売上高)

FCサービスは、有料会員より毎月又は毎年受領するファンクラブ会費のうち、当社が受領する手数料を売上高として純額計上するストック型ビジネスであり、当社プラットフォームの中核である「Bitfan Pro」及び「Bitfan」のFCサービス等により構成され、安定的かつ継続的な収入が見込まれるという特性を有しております。当第2四半期連結累計期間においては、サービス数及び有料会員数の増加により、FCサービスの売上高は752,837千円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

ECサービスは、クリエイターグッズ等のECサイトでの販売代金のうち、当社が受領する手数料を売上高として純額計上するフロー型ビジネスであり、「Bitfan Pro」及び「Bitfan」のECサービスにより構成されており、クリエイターによるツアー実施等の活動の有無により商品の出荷時期及び出荷金額が大きく変動する特性があり、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。当第2四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比較してクリエイターグッズ等のEC販売が増加したことにより、ECサービスの売上高は360,086千円（同0.8%増）となりました。

その他の売上高は、電子チケットサービスであるSKIYAKI TICKET及びBitfan Passのサービス提供、クリエイターのイベント制作、クリエイターのオリジナルグッズの企画製造販売を行うMD（マーチャンダイジング）サービスの提供、その他上記に含まれないサービスに係るシステム提供等により、171,386千円（同80.4%増）となりました。

この結果、売上高は、前年同四半期に比べ12.1%増加の1,284,310千円となりました。

(売上原価、販売費及び一般管理費)

売上原価は、MDサービスの売上増加に伴う商品仕入原価及びロイヤリティの増加等の影響により、前年同四半期に比べ4.5%増加の349,528千円となりました。

販売費及び一般管理費は、FCサービスの売上増加に伴う回収手数料の増加、人員増加及び昇給に伴う人件費増加等の影響により、前年同四半期に比べ8.3%増加の758,612千円となりました。

(営業損益)

営業利益は、主に売上高の増加により、前年同四半期に比べ58.1%増加の176,169千円となりました。

(経常損益)

経常利益は、営業外収益として持分法による投資利益16,632千円、貸倒引当金戻入額4,983千円等を計上し、営業外費用として支払利息1,459千円等を計上した結果、前年同四半期に比べ61.2%増加の197,667千円となりました。

(税金等調整前四半期純損益)

税金等調整前四半期純利益は、特別損失として訴訟関連損失5,713千円及び貸倒引当金繰入額31,467千円を計上した結果、前年同四半期と比べ58.9%増加の160,487千円となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純損益)

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税28,879千円、法人税等調整額28,201千円及び非支配株主に帰属する四半期純利益702千円を計上した結果、前年同四半期に比べ49.3%増加の102,703千円となりました。

なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は4,199,562千円となり、前連結会計年度末に比べ99,432千円増加しました。

流動資産については、売掛金の増加111,740千円、前払費用の増加106,028千円、現金及び預金の減少39,566千円、前渡金の減少76,582千円等により、前連結会計年度末に比べ76,848千円増加し、3,797,427千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が11,438千円、無形固定資産が119,799千円、投資その他の資産が270,896千円となり、前連結会計年度末に比べ22,583千円増加し、402,134千円となりました。これは主に、長期未収入金の増加63,066千円、長期前払費用の増加17,638千円、繰延税金資産の減少30,804千円、貸倒引当金の増加26,483千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、2,859,660千円と前連結会計年度末に比べ11,963千円減少しました。

流動負債については、1年内返済予定の長期借入金の増加61,225千円、契約負債の増加81,799千円、買掛金の減少125,650千円、預り金の減少83,446千円等により、前連結会計年度末に比べ92,149千円減少し、2,684,362千円となりました。

固定負債については、長期借入金の増加75,778千円等により、前連結会計年度末に比べ80,185千円増加し、175,297千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ111,396千円増加し、1,339,901千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加102,703千円、譲渡制限付株式の発行及び新株予約権の行使による資本金及び資本準備金の増加7,990千円、非支配株主持分の増加702千円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ39,566千円減少し、2,362,104千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、175,282千円（前第2四半期連結累計期間は235,218千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益160,487千円、減価償却費18,888千円、前渡金の減少76,582千円、契約負債の増加81,799千円等の増加要因があった一方で、売上債権の増加111,740千円、前払費用の増加105,175千円、仕入債務の減少125,650千円、預り金の減少83,221千円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,517千円（前第2四半期連結累計期間は71,057千円の使用）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出4,206千円等の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、138,233千円（前第2四半期連結累計期間は79,520千円の使用）となりました。これは主に、借入れによる収入200,000千円及び株式の発行による収入1,230千円の増加要因があった一方で、借入金の返済による支出62,997千円の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第2四半期連結累計期間における連結業績が概ね計画どおりに進捗していることから、2023年3月16日の「2023年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401,671	2,362,104
売掛金	586,652	698,392
商品	1,647	2,459
前払費用	557,968	663,996
その他	172,830	70,714
貸倒引当金	△191	△240
流動資産合計	3,720,579	3,797,427
固定資産		
有形固定資産	12,646	11,438
無形固定資産	129,861	119,799
投資その他の資産		
投資その他の資産	422,210	482,548
貸倒引当金	△185,168	△211,652
投資その他の資産合計	237,041	270,896
固定資産合計	379,550	402,134
資産合計	4,100,129	4,199,562
負債の部		
流動負債		
買掛金	184,446	58,795
1年内返済予定の長期借入金	87,019	148,244
未払法人税等	46,577	39,194
預り金	1,611,861	1,528,415
契約負債	713,551	795,350
その他	133,055	114,361
流動負債合計	2,776,511	2,684,362
固定負債		
長期借入金	86,144	161,922
繰延税金負債	2,602	—
株式報酬引当金	6,365	13,375
固定負債合計	95,112	175,297
負債合計	2,871,623	2,859,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,289	597,284
資本剰余金	567,259	571,254
利益剰余金	58,267	160,970
自己株式	△346	△346
株主資本合計	1,218,469	1,329,163
非支配株主持分	10,035	10,738
純資産合計	1,228,505	1,339,901
負債純資産合計	4,100,129	4,199,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	1,146,013	1,284,310
売上原価	334,398	349,528
売上総利益	811,614	934,782
販売費及び一般管理費	700,215	758,612
営業利益	111,399	176,169
営業外収益		
受取利息及び配当金	93	90
持分法による投資利益	2,938	16,632
債務免除益	7,645	—
貸倒引当金戻入額	—	4,983
その他	3,995	1,489
営業外収益合計	14,672	23,195
営業外費用		
支払利息	1,485	1,459
子会社清算損	1,952	—
その他	—	237
営業外費用合計	3,437	1,697
経常利益	122,634	197,667
特別利益		
貸倒引当金戻入額	27,635	—
持分変動利益	2,025	—
特別利益合計	29,661	—
特別損失		
投資有価証券評価損	44,033	—
臨時損失	7,286	—
訴訟関連損失	—	5,713
貸倒引当金繰入額	—	31,467
特別損失合計	51,319	37,180
税金等調整前四半期純利益	100,976	160,487
法人税、住民税及び事業税	16,173	28,879
法人税等調整額	15,926	28,201
法人税等合計	32,099	57,081
四半期純利益	68,876	103,406
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	702
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,793	102,703

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	68,876	103,406
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△181	—
その他の包括利益合計	△181	—
四半期包括利益	68,694	103,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,611	102,703
非支配株主に係る四半期包括利益	82	702

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,976	160,487
減価償却費	37,349	18,888
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,724	26,532
受取利息及び受取配当金	△93	△90
支払利息	1,485	1,437
持分法による投資損益(△は益)	△2,938	△16,632
持分変動損益(△は益)	△2,025	—
債務免除益	△7,645	—
子会社清算損益(△は益)	1,952	—
臨時損失	7,286	—
訴訟関連損失	—	5,713
株式報酬費用	3,569	4,435
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	2,458	7,010
投資有価証券評価損益(△は益)	44,033	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,723	△111,740
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,305	△811
前渡金の増減額(△は増加)	12,998	76,582
前払費用の増減額(△は増加)	△46,283	△105,175
預け金の増減額(△は増加)	△83,823	2,634
長期前払費用の増減額(△は増加)	15,146	△16,166
長期未収入金の増減額(△は増加)	38,541	△63,066
仕入債務の増減額(△は減少)	△351,698	△125,650
未払金の増減額(△は減少)	8,685	438
預り金の増減額(△は減少)	363,533	△83,221
契約負債の増減額(△は減少)	70,226	81,799
その他	△6,733	1,485
小計	200,695	△135,111
利息及び配当金の受取額	93	90
利息の支払額	△1,485	△1,437
臨時損失の支払額	△7,286	—
訴訟関連損失の支払額	—	△5,713
法人税等の支払額	—	△33,110
法人税等の還付額	43,201	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,218	△175,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,567	△2,081
無形固定資産の取得による支出	△19,740	△4,206
投資有価証券の取得による支出	△49,999	—
貸付金の回収による収入	1,250	3,750
その他	—	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,057	△2,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	490	1,230
借入れによる収入	—	200,000
借入金の返済による支出	△80,010	△62,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,520	138,233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84,640	△39,566
現金及び現金同等物の期首残高	1,748,321	2,401,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,832,962	2,362,104

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。